

分野横断的事項について

インベントリワーキンググループ（WG）では、個別分科会での対応が困難な分野横断的課題など、インベントリ全体に関わる諸課題について検討を行うこととしている。

今年度のインベントリ WG において検討を行った主な分野横断的課題の概要と検討結果は以下のとおり。

1. インベントリ関連情報のアウトリーチ方策

1.1 課題の概要

- 我が国の温室効果ガスインベントリにおける排出・吸収量データ及び算定方法等に関する情報は、国・地方自治体・民間・研究機関等各所で活用されているが、関連情報が複数の情報媒体及びウェブサイトに分散して掲載されており、ユーザーにとって使いやすい状況となっていない。また、排出・吸収量の詳細な算定方法、各パラメータの出典、算定方法等の変更・改善の時系列経緯等に関する情報が体系的に整理されていないため、これらの情報を利用しているユーザーのニーズに応えきれていない。
- 上記の課題を踏まえ、平成 26 年度のインベントリ WG において、温室効果ガスインベントリにおける詳細な情報を有効に情報提供していくためのアウトリーチ方策について検討を行い、インベントリ及び GHG 排出量に関連する情報を網羅したポータルサイトを構築し、効果的・効率的な情報の集約・アーカイブとアウトリーチを図る方策を決定したところ。

1.2 検討結果

- 平成 26 年度インベントリ WG において策定されたアウトリーチ方策に基づき、平成 27 年度より、ポータルサイトの検討、排出源別の算定方法の詳細情報の作成、活動量・排出係数等の各種パラメータデータの公表用データ作成等を進めてきた。今年度のインベントリ WG においては、作業の進捗状況について報告を行うとともに、今後の作業の進め方について議論を行った。
- 今後は、引き続き、温室効果ガス排出・吸収量算定方法の詳細情報（温室効果ガスインベントリにおける排出・吸収量算定方法、排出係数、活動量等パラメータ、及びこれら算定方法及び各種パラメータの過去からの変更経緯等を排出・吸収源別に整理した資料）の作成作業を進め、今年度中にポータルサイトを一般公開予定。

(参考) インベントリ関連情報ポータルサイトトップページのイメージ (※予定)

温室効果ガス 排出・吸収量等の算定と報告

温室効果ガスインベントリの概要

我が国が気候変動枠組条約に基づいて毎年作成している温室効果ガスインベントリの概要を紹介しています。



温室効果ガス 排出・吸収量

我が国からの温室効果ガス排出・吸収量の算定結果に関する資料や関連データを掲載しています。



温室効果ガス 排出・吸収量の算定方法

各排出源・吸収源からの温室効果ガス排出量・吸収量の算定方法に関する詳細資料を掲載しています。



温室効果ガス排出量 算定方法検討会

環境省が毎年度開催している「温室効果ガス排出量算定方法検討会」の検討結果等を掲載しています。



UNFCCCへの 報告及び審査

我が国が国連に提出した温室効果ガスインベントリ、国別報告書、隔年報告書を掲載しています。

国内の温室効果ガス 排出・吸収量に関する他制度・関連情報

我が国における温室効果ガス排出削減目標や、排出・吸収量の算定に関する制度等の情報を紹介しています。



世界の温室効果ガス 排出・吸収量等に関する情報

他国における温室効果ガス排出削減目標や、排出・吸収量等に関する情報を紹介しています。



リンク集

問い合わせ

ページ先頭へ ▲

Contents

温室効果ガス
インベントリの概要

温室効果ガス排出・吸収量

温室効果ガス
排出・吸収量の算定方法

温室効果ガス排出量
算定方法検討会

UNFCCCへの報告及び審査

国内の温室効果ガス排出・吸収量に関する他制度・関連情報

世界の温室効果ガス排出・吸収量等に関する情報

リンク集

問い合わせ

2. IPCC ガイドラインの改良に向けた対応策

2.1 課題の概要

- 2016年10月に開催された IPCC 第44回総会において、2006年 IPCC ガイドラインの2019年改良版(Refinement)の作成に関する作業計画や TOR (Terms of Reference) 案、TOC (Table of Contents) 案等が採択され、正式に2006年 IPCC ガイドラインの改良作業が開始されることとなった。
- 我が国のインベントリにおける算定方法は、算定方法検討会において、国内の研究事例等を踏まえ、多くの専門家による議論を経て設定されており、IPCC ガイドラインの改良に貢献しうる知見が蓄積されている。また、インベントリ審査への対応及び国際貢献の観点から、我が国のインベントリにおける知見を最大限 IPCC ガイドラインに盛り込むべく対応していくことが望ましい。これを踏まえ、平成26年度のインベントリ WG において、我が国の知見を積極的かつ効果的にインプットしていくため、情報収集・分析及び執筆者の活動支援を組織的に実施する体制整備や、日本から選出された執筆者の執筆活動に対する組織的なサポートを行っていく方針を決定したところ。

2.2 検討結果

- 今年度のインベントリ WG では、2006年 IPCC ガイドラインの改良に関する状況を共有するとともに、執筆者支援の具体的方策等について議論を行った。
- 2006年 IPCC ガイドラインの2019年改良版の作成にあたり、我が国の知見を積極的かつ効果的にインプットしていくため、情報収集・分析及び執筆者の活動支援を組織的に実施する体制を整備する方針を確認した。
- 具体的には、日本から選出された執筆者の執筆活動支援を行うタスクフォースや、執筆活動に資する関連情報の収集・分析、技術的課題に関する分野別 WG の開催など、組織的なサポートを行っていくこととする。